

ハンドボール

No. 42

Japan
Handball
Association



卷之三

○ 全国大会
ブロック大会
都道府県大会

男子
女子

C-②

年月日 | 2023 年 10 月 8 日 (日)

大会名 特別国民体育大会 燐ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技

公 式 記 錄 用 紙

A	兵庫県							埼玉県							B					
都道府県 鹿児島県		市町村 霧島市		会場 霧島市横川体育館										回数 1回戦						
前半	A 13	B 12	最終 結果	A 30	B 32	第1 延長	A 5	B 7	第2 延長	A	B	7mスロー- コマ数	A	B						
7m得点/総数	A		チームタイムアウト				チームタイムアウト				B		7m得点/総数	2/2						
	1/3		1	2	3		1	2	13	0653	2937									
No.	兵庫県			G	W	2'	2'	D	DR	No.	埼玉県			G	W	2'	2'	D	DR	
1	中野 純志									1	遠藤 聖直									
2	大西 航永									2	加崎 條一郎			3						
3	重田 拓海			5						3	榎本 陽太			8						
4	吉川 賢貴			2						4	迫 大雅			2						
5	澤田 悠大			8						5	大腰 謙									
6	岡 優隼									6	杉山 翔			1						
7	梶原 佑一郎			8						7	大久保 昌憲			9						
8	吉田 蓮			1		.				8	塙畑 陽太			6						
9	岡本 愛斗			3		1				9	大島 泰河									
10	山本 烨太			3						10	天野 風雅									
11	石原 幸樹									11	藤原 結陽			3						
12	大西 和真									12	阿部 竜士									
監督A	向井 勝二									監督A	大高 正人									
役員B	高橋 裕稀									役員B	和久 長義									
役員C	酒井 芳浩									役員C	松尾 茂雄									
										役員D	岩本 岳									
A	向井 勝二				チーム役員A署名				大高 正人				B							
特記事項																				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール

No.44

特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月 8日(日)	試合番号	C-②	回戦	1回戦
種 別	少年男子	会 場			霧島市横川体育館

Aチーム名	Bチーム名				
兵庫県	埼玉県				
得点合計	小 計		小 計		得点合計
30	13	前 半	12		32
	12	後 半	13		
	3	第1延長前半	3		
	2	第1延長後半	4		
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7m TC			

戦 評
<p>少年男子1回戦、兵庫県⑪大西の好セーブから、④吉川のシュートで先制し幕を開けた。埼玉県は、序盤にノーマークシュートの場面を何度も作り出しが、決めきれず、思うように得点することができない。しかし、得点できない時間帯でも、粘り強くディフェンスで食らいつき、兵庫県を波に乗せない。じりじりと得点を積み重ね、自分たちのペースにもっていきたい埼玉県だが、兵庫県⑪大西が再三の好セーブを見せ、味方を援護する。前半17分に、兵庫県に退場者が出てきることをきっかけに、⑪藤原のサイドシュート、⑧塩畑の速攻で同点に追いつく。そこからは一進一退の攻防が続き、両者一步も譲らない。前半25分を過ぎて、両チームに退場者がいると、さらにスピーディーな展開を繰り広げ、兵庫県の1点リードで前半を終える。</p> <p>後半開始直後、埼玉県⑦のカットインシュートで同点にするが、すかさず兵庫県は⑩山本や⑤澤田のカットインシュートで3連続得点に成功する。後半7分、4点差となったところで、埼玉県はたまらずタイムアウト。その後、7人攻撃も用いながら、じわじわと点差を詰めていく。埼玉県は速攻が決まりだし、残り15分で同点に追いつく。しかし兵庫県は、積極的なディフェンスで相手のミスを誘い、逆転は許さない。拮抗した時間帯が長く続くも、お互い集中力を切らさず、残り1分まで1点を追う緊張感のある試合展開。兵庫県が試合を決定づける場面を見せるが、ここで埼玉県⑫阿部のピッグセーブが連発。チームを勢いづけると、残り1秒で⑧塩畑が同点ゴールを決め、延長戦に突入。</p> <p>延長戦に入ってからも、お互いに気迫のあるプレーで、チャンスを逃さず得点を重ねていく。試合が動いたのは、延長戦後半開始直後。埼玉県が④迫のシュートでついに逆転。⑧塩畑のカットインで2点差とする。最後まで粘る兵庫県の猛攻を振り切り、両者互角の熱戦に終止符を打った。</p>

	記載者氏名	西郷 知里	
	送信日時	10月 8日(日)	15:10